

「個性を伸ばし、豊かな人間性のある児童生徒の育成」

1 はじめに

守谷中学校区では、小学生と中学生と一緒に活動する機会を通して、豊かな人間性の育成を図ってきた。様々な交流活動から、小学生は中学校への親近感と期待感を膨らませ、夢と希望を持って進学が図れるように、また、中学生は小学生とのふれあいの中で、上級生としての意識や自尊感情を高め、よりよい生活が送れるよう努めてきた。さらに、児童生徒の交流活動を計画、実施していく中で教職員の交流も深まり、これまで以上に9年間を見通した指導の大切さを考える1年間となった。

2 本年度実施の交流活動

(1) 小学校「学びの広場」への中学生ボランティアの参加

7月下旬の5日間、大野小、黒内小それぞれの小学校で実施した「学びの広場」において、守谷中学校の生徒が学習ボランティアとして参加した。4～6年の各学級を対象に中学生が数人ずつ入り、解答のためのアドバイスや採点等を行った。各校とも担当教師が複数いたが、より指導者が多くなったため、細かく指導の手を入れることができ、大変効果的であった。また、小学生も中学生に助言を受けたり、採点をしてもらったりすることがうれしく、一層意欲的に取り組むことができていた。



(2) 小中合同あいさつ運動



10月7日（火）、8日（水）は大野小にて、9日（木）、10日（金）は黒内小にて、卒業生にあたる守谷中生徒が、小学生の登校時刻に合わせ来校し、担当委員会の児童と合同であいさつ運動を実施した。両小学校とも、初日、登校してきた小学生は、中学生から大きな声であいさつされると戸惑いの様子も見られたが、それぞれの小学校の卒業生であることがわかる

と笑顔であいさつを返すことができていた。また、2日目は小学生の緊張感も薄まり、元気よくあいさつを返す姿が見られるようになってきていた。

(3) 小学校の学校行事への守谷中文化部の参加 〈大野小学校〉

11月8日（土）大野小収穫祭にて、守谷中吹奏楽部が来校し、演奏を行った。小学生にはなじみのない楽器の紹介や小学生がよく知っている曲を中心にした演奏などを工夫のあるプログラムを組み、児童の関心を引いていた。また、途中にダンスを交えた演奏もあり、会場全体が包み込まれるようなすばらしい時間となった。

〈黒内小学校〉

11月8日（土）黒内小「黒内まつり」にて、守谷中美術部が来校し、小学生の体験活動の1ブースを担当した。平成23年度から始まり4回目の実施となる今年度は、紙粘土を使った工作体験を設定し、黒内小4～6年児童およそ30人とその保護者が参加した。小グループに分かれた児童に対して2～4人の中学生が担当し、丁寧に製作指導をしていた。できあがった作品はどれも満足のいくものとなり、小学生は大変喜んで持ち帰っていった。



(4) 中一母校訪問（平成26年11月20日（木）5・6校時実施）

〈大野小学校〉

5校時は、2年生算数の授業に学習支援として守谷中1年生が参加し、かけ算九九の練習の補助を行った。昨年度は6年生と1年生の関係で異学年交流の機会が多く、2年生は卒業生の来校を大変喜んでいて、そのためか、普段より意欲的に九九の練習に取り組む児童が多く見られた。

6校時は、6年生との交流として、小グループに分かれて、中学生が中学校生活についての様子を発表し6年生がそれを聞く活動を行った。聞いたことをもとに、小学生からはたくさんの質問が出された。それに対し、中学生がきちんと対応することができ、有意義な時間となった。

〈黒内小学校〉

5校時は、小学1年生の音楽の学習支援として守谷中1年生に参加してもらった。小学生の合唱を聴いた後、鍵盤ハーモニカの練習において指使いの個別指導にあたった。はじめは小学生、中学生ともに遠慮している様子が窺えたが、時間とともに中学生が熱心に個別指導に当たり、小学生が素直にそれを受ける様子に変わっていった。授業終了後の小学生の感想では、中学生に褒められたことをとてもうれしそうに語る児童がたくさん見られた。

6校時は、大野小同様、6年生との交流を実施した。中学生が学校生活について発表し、その後、それに対する質問会を行った。堂々とした中学生の発表を通して、6年生は中学校での学習や部活動について知ることができ、中学校生活に対する期待感が高まった。



2年生算数学習支援



1年生音楽学習支援

(5) 小中交流教室・小中合同音楽授業（平成26年12月2日（火）実施）

① ねらい

- ・ 中学校施設において、中学校の生活時間に従って生活・学習を行うことにより、施設を知り、中学生の生活の流れや雰囲気を感じることで、中学校生活に向けての心構えをつくる。
- ・ 中学校の教諭による授業を受ける機会を作ることにより、中学校での学習を想起させ、学習に対する意欲や期待感を高める。
- ・ 同じ校区の小学校で授業や給食を合同で行うことにより、子ども同士の連携を深め、来年度からの中学校生活の円滑化を図る。

② 具体的な活動

- ・ 午前… 算数科授業での小中教員におけるティームティーチング
理科室を使つての理科授業（小学校専科による授業）
総合的な学習の時間における図書室、PC室の利用
小学校担任と中学校ALT、英語教員による外国語活動
小学校合同の体育（マット運動）

- ・ 給食… 小小連携合同給食会実施

- ・ 午後… 小中合同音楽授業 「パレッタ『ダイダラ坊』を演奏しよう」

今年度、初めて行った試みであったが、小中連携の計画当初のねらいに加え、小小連携の活動を盛り込むことができた。大野小、黒内小ともに来年度から同じ中学校に進学する仲間として交流することが出来たことは両校の児童に大変有意義であった。また、小中合同授業においては交流活動が適宜配置されており、小中学生が学び合う姿を見ることが出来た。



外国語活動の様子



小中合同音楽授業

3 成果と今後の課題

守谷中学校区として交流活動を進めるたびに、児童生徒が互いにに関わりながら、生き生きと活動する姿が見られた。このような活動を積み上げていくことにより、子どもたちの中での小中一貫教育の素地ができあがっていくことを再認識することが出来た。今後は、今までの活動を継続し質的向上を図っていくとともに、新たな試みを計画、実施していくことが重要である。また、市全体としての小中一貫教育のねらいや計画を、中学校区の実態にあわせ、より効果的に推進していきけるよう、教職員の意識を高めながら、次年度の取り組みを充実させていきたい。